



一般社団法人山ぼうしの樹 犬猫の会
のむらゆみ もりかわりどみ
野村由美さん、森川瞳さん

動物の福祉を考え 人に寄り添い問題の解決へ

犬猫のさまざまな問題に関わっていると、犬猫の先にいる人の問題が見えてきます。先のことを考えずかわいい、かわいそうという感情で行動してしまう人、愛情はあるけれど的確な判断ができない人、そういう人に寄り添い、人の問題解決に力を入れていくことで、動物の問題も解決していきます。

木山下辻団地のような問題も根本的な解決を目指すのであれば、猫の避妊去勢をするだけでなく、人が餌やりをしないことが大切です。猫たちの飼い主になってくれる人を探しながら、住民説明会などを通して、餌やりをする人と困っている人が対立せず協調する関係を築くお手伝いもできればと考えています。

飼い主のいない猫に対して餌をあげないことがかわいそうと思う人もいれば、餌をあげることで望まれない命が増えることがかわいそうと考える人もいます。動物愛護の考え方は人それぞれです。だからこそ私たちは、動物が健康で幸せであるかという動物福祉の考え方に基づいて活動しています。

御船保健所をはじめ、行政や自治会などと共同で、犬猫の過剰繁殖を防ぐとともに、犬猫を飼う人の意識を高めていくための取り組みを進めていきたいと思っています。

犬猫の会 地域ボランティア募集

一緒に犬猫のお世話や住民のサポートをしてくれる仲間を募集しています。

☎ 070 - 8905 - 2599

団地全体で共通認識を持ち ルールを守る、歩み寄る

犬猫の会の人たちにも現状を見てもらい、まずはこれ以上猫を増やさないために、避妊去勢手術の支援を受けることにしました。手術後は、犬猫の会に協力してもらいながら、猫たちの飼い主になってくれる人を探す予定です。

今いる猫たちの問題が解決しても、餌を与える人がいる限り、別の猫がやってきて同じことが起きてしまう可能性があります。餌を与える人ややめない理由を聞くと、返ってくる言葉は「かわいそうだから」。生まれ

たばかりの子猫が外で鳴いていると、私たちもかわいそうと思います。その気持ちは同じです。しかし、さまざまな人が集まる団地で生きていく以上、決められたルールを守る必要があります。かわいそうと思うような命が生まれないようにするために、団地住民全員が共通認識を持ち、歩み寄ることが大切です。3回にわたる説明会でそのことを伝えたいと思っています。

町内にも、同じように飼い主のいない猫の問題を抱えている地区があると思います。私たちがボランティアの人たちと解決に取り組む姿が、そのような地区の問題解決のきっかけになればうれしいです。

木山下辻団地 活動の流れ

8月

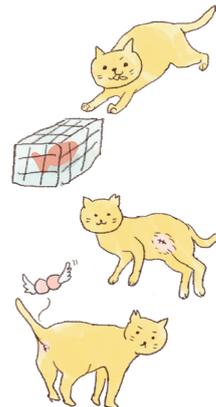
- ・活動の啓発資料掲示、配布
- ・第1回住民説明会

9月

- ・猫の捕獲開始、一時預かり
- ・第2回住民説明会
- ・県動物愛護センターで猫の手術

10月

- ・県動物愛護センターで猫の手術
- ・第3回住民説明会



Trap
トラップ 安全に捕獲する

Neuter
ニューター 避妊・去勢手術をする

Tame
タイム 人に慣らす

Adopt
アダプト 譲渡する